

地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 9月 22日
事業所名	医療法人悠山会 グループホームファミリア元八事
ユニット名	Aユニット
事業所番号	2371601234
記入者名	職名 管理者 氏名 加藤 真清
連絡先電話番号	(052) 832-0817

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>変わらぬ生活が送れるように心がけ取り組み力を入れています。・今までと変わらないアットホームな雰囲気作りを目指しています。</p>	<p>管理者と職員が今まで以上に連携し、より過ごしやすい環境になるよう話合っていく</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域の方とは散歩や買い物を通し、触れ合いを大切にしています。・家族には話の中で、理念の説明を行っており理解をしていただけていると思います。</p>	<p>民生員などに声掛けを行い、地域との交流を試みましたが、地域の方々の方が一歩引いているようで、なかなか進展がありません。散歩中などを通し挨拶をする事で、認知ははしていただけていると思います。今後も土地柄にあった方法で交流を図って行きたいと思っています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>挨拶を心がけ、いつでも立ち寄って頂けるよう、声掛けを欠かさないように努めています。</p>	<p>地域での行事の参加を考えています。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会などの行事に参加依頼をしている。</p>	<p>老人会などお年寄りに関する事についての声掛けをしてもらえるようになりました。今後地域の掃除に参加をして行き、少しずつ交流が持てればと思っています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>	<p>ご近所でよく会話をする人には「出来る事は無い か」「困っている事はないか」相談にのってい る。</p>	<p>声のかけやすい環境を第一に考え、小規模な地域 掃除などへの参加から初めて行きたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価を受ける事で、サービスの見 直しをする事が出来るのではないかと。・他者の目 が入る事で向上へとつながっていくのではない かと。</p>	<p>評価より出てきた問題点が、向上のきっかけに なっていくよう改善をして行きたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、その意見をサー ビス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回役員で構成しており、行事内容の報 告、施設内の現状についても報告しておりま す。・役員以外の方には報告書を通して伝達し、 意見を頂き次回へと反映しております。</p>	<p>再度地域の方への働きかけを行い、向上へと繋げ て行きたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる</p>	<p>疑問のある時は、電話などでご指導をしていただ いています。わからない事を質問し、答えを導き 出す事がサービスの向上だと考えています。</p>	<p>必要に応じ、ご指導を頂いてく。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>理解はしていますが、現時点では活用場なし</p>	<p>必要に応じ適切に活用出来るよう、日々勉強を して行きたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ間で声を掛け合い、スタッフの居場所が わかるようにしている。また言動は十分注意す るよう指導を行っている。</p>	<p>スタッフ間での定期的な見直し・再確認。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約の際は、書類を通し十分な説明を行い、1つずつご理解・納得をして頂いている。</p>	<p>今後も利用者様・ご家族のの不安の開錠に努める。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常に利用者様の言動・表情に注意をし、相談し易い雰囲気作りを心がけ、またスタッフからも声がけをしています。相談内容は朝のミーティングで職員に伝達し検討をして行くようにしている。</p>	<p>介護記録を活用し、皆が悩みを共有できるようにする。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>面会時または状況・状態の変化に応じ、その都度連絡をしています。全体への連絡事項は、請求書と一緒に同封し報告しています。</p>	<p>今後も迅速に対応が出来るよう、継続して行く。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族から頂いた意見は、その都度ミーティングにかけ、検討している。また新年会などを通し、ご家族同士での交流も少しずつ図っていただいています。</p>	<p>お茶会や食事会など、ご家族との時間を作り、お互いの意識が向上できるように試みていく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のミーティング及び毎月のミーティングでスタッフの話し合いの場を作っている。・話し合いの場が少ないように感じる。</p>	<p>職員同士の意見交換により、意識の向上・責任感へ繋がるよう、今まで以上にコミュニケーションを大事にしていく。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>その都度話し合い、勤務の調整に努めている。・施設長との話し合いで、人員確保に努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様第一と考え、ダメージが少ないよう運営者と話し合っている。非常勤ではなく常勤雇用に努めている。移動が必要な場合もある為、馴染みの職員が沢山居るよう職員の固定に勤めている。		移動のやむおえない時はあるが、利用者様にとって負担の掛からないよう、スタッフ間の情報交換を強化して行く。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格手当での支給によりは利害を持ってもらえるようにしている。・スタッフの意見を問いいれながら法人での勉強会を行っている。送られてきた研修案内は誰でも見てもらえるようにしている。		法人だけでなく、必要に応じて各施設でのプチ勉強会を開催し、質の向上を図っていきたい。また、判らない事はそのときに解決が出来るようなスタッフの交流作りに努める。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市・地区の交流会に参加し、他施設とも情報交換を行っている。・参加のできるものに関しては、職員に呼びかけをし出席してもらいサービスの向上を目指している。		職場内だけでは解決出来ない問題や悩みを発散できる良い場だと考えます。情報交換し、向上心へと繋がればと思っています。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月に1度のミーティングにより、職員の意見交換を行いコミュニケーションを図る応にしているが、全ての職員が発言するわけではない。年に数回、職員での宴会を開催しています。・相談がしやすい様、事務所に居る時間を管理者は作っています。		職員1人1人が何に不安・不満を感じているのか、話し合う機会を増やしていく。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員1人1人が遣り甲斐を持って努めてもらえるよう努力・実績についても把握しており、役職対価にて報えるよう給料面でも反映をしている。		表情の良いご利用者様を見ると、職員が努力している事を実感する。向上心を持っていただけるように、職員からの提案により法人で勉強会を行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>傾聴に心がけ、一緒に悩みを解消できるようにしている。・1対1でゆっくり時間を取りコミュニケーションを図る様にしている。</p>	<p>利用者様が声を掛けやすい環境を作り、ご本人の納得のいくような取り組みが出来るようにしていきたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族とのコミュニケーションを、管理者・ケアマネージャーが中心となり図っている。・ご家族様の話聞き、不安や不満を理解しながら受け止めるようにしています。</p>	<p>家族様の思い・利用者様の思いを話して頂けるよう、馴染みのスタッフを置くことで、信頼関係を築いていく。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>個々のスタッフで判断のしにくい事は、スタッフ間で話し合い対応をしている。頂いた情報を素にスタッフ間での話し合いをし対応を決めている。</p>	<p>求められた質問に対し、1つではなく幾通りか選択が出来るよう助言し、その中で最良の答えが出していただけるよう支援して行きたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>コミュニケーションを第一に考え、その方がどのような考えを持っている方なのかを理解し、安心していただいた上でサービスを提供するようにしています。</p>	<p>すぐに結果を求めるのではなく、その方その方のペースに合せ、こちらでの生活が本人本意で進んでいくよう、サービスの提供を心がける。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>話し合いの時間を大切にし、ご本人の気持ちを尊重しつつ介護に取り組んでいます。・手伝っただけの事は、お願いするようにしています。</p>	<p>焦るばかりではなく、ゆったりとした時間の中で、傾聴に心がけ、今まで以上になんでも話し合える関係を築いていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の話に傾聴し、一緒に考えるようにしています。ご家族の来所時には、声がけし会話を持ち気持ちを共有し合える関係作りに努めている。		相談窓口を複数にせず、一本化し話しやすい環境を更に図って行きたい。
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	管理者・ケアマネージャーに報告し対応している。気付いたことはミーティングなどで話し合い、ご本人にとってより良い住まいとなるような関係作りに努めている。		今まで以上に、職員が一丸となり、親身に対応していけるよう勤めて行きたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力のもと、その時々に合わせて対応をしています。・ご近所の方から声を掛けてくれるので、その機会をなくさないよう努めています。		個別ケアは必要と考えるが、全てに対応するのは難しい。週間表などを活用し、利用者様の予定を明確にし空き時間を把握する事も必要かと思う。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	家事などを通しスタッフが間に入りながら、交流が密に図れるよう努めている。・食事の座席なども必要に応じ検討している。・散歩時など手を取り、お互いが支えあえるよう努めている。		1人1人の得意分野を見出し、その事に触れながら個々を尊重しつつも談話中の話題の提供が出来るよう努める。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	管理者より季節の挨拶など手紙を送り、いつでも連絡いただける様配慮している。		・今後も続けていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>傾聴に心がけ、ご本人・ご家族の意思に添えるよう努めている。・職員1人1人に利用者様を受け持ってもらい、その上でケアプランの検討をしている。</p>	<p>今まで以上に、定期的なケアの見直しを行い「その人に必要なケアが何か」を多方面から考えていける様に努める。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ケアマネージャーを中心に生活歴など情報収集に努めている。・来訪時にご家族から収集した情報はミーティングなどで職員内で共有している。</p>	<p>面会時だけでなく、お話の出来る機会を行事を通し増やしていき、コミュニケーションの向上につなげて行きたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の生活の中での気づきをミーティングで共有しあうことで、現状の把握に努めています。</p>	<p>職員同士のコミュニケーションを今以上に強めて行きたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人にとって「必要なケアは何か」を話し合いの中で見つけ計画作成に努めている。</p>	<p>職員が意見交換をしやすい環境を作る。・ご家族との連携の強化に努める。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状況変化があった場合、ご家族に連絡の上、見直す形を取っています。</p>	<p>必要に応じミーティングを通して話し合いを行っている。今後も職員の意識向上を図って行きたい。・ご家族と日頃からの連携も図っていく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人介護記録は24時間記録とし、また介護日誌にて、その日の変化については記入し、目に着きやすいようにしている。・記録が不十分である。		職員によって記録の内容にムラがある為、誰が記入しても充実したものになるよう、強化に努めていく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	独りで判断のし難いことが多い為、話し合いに基づき各スタッフが柔軟な対応をしている。・全てのスタッフがこなしているわけではない。		スタッフ1人1人が対応するのではなく、チームケアにて状況報告を密に行って対応が出来るよう努めていく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	社協とは良く連絡を取っている。・ボランティアの受け入れを依頼している。		地域にあったかたちでの係わり合いをするとともに、公共機関との関わりは強化するよう努めていく。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	交流会などで、情報交換を行なっているが、今のところ他のサービスの利用は無い。		必要に応じ、活用して行く。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働していない。		必要に応じ検討していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に1回かかりつけ医の往診があり、健康管理を行っている。・病状により、かかりつけ医への連絡を行うことで、適切な医療が受けられるように努めている。		病状に応じ、他院への受診も行っている。他機関との関わりが強化するよう、今後も情報提供を行っていく。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医への情報提供により、診断治療が受けられるよう努めている。・他院へ希望される場合も、かかりつけ医と相談の上対応を行なっている。		必要に応じ直ちに対応が出来るよう、かかりつけ医との連携を今後も強化していく
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師と相談し、指導のもと支援をしている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院後の生活状況など、事前にケアマネージャーが情報収集を行い、対応が出来るよう、職員に提供している。・病院との情報交換は必要に応じ、その都度行っている。		緊急時に備え、受け入れ先との連携の強化
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご利用者さまの現状は、来訪時お伝えしており、変化があったときにも速やかに伝える事で、共有が出来ている。・ご家族間での話し合いの場も必ず設けていただいている。		よりよい終末期を迎えていただけるよう家族・医師・職員が一丸となり日頃からの連携に努めている。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の気持ちを深く理解したうえで、医師・看護師と密に情報交換を行い指導のもと支援をしている。		状態に合せた支援に今後も努めていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	生活習慣・性格などその方を理解して頂けるよう情報提供をしている	その方を理解し、信頼関係が築けるよう今後も支援していく。
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	申し送り時・氏名ではなく部屋番号で送っている。管理者より度々言葉遣いやプライバシーについての話がある。	言葉遣い・プライバシーの確保を常に意識して勤務が出来るよう、確認強化していく。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	会話を通し、気持ちの変化にすぐ対応が出来るよう努めている。・スタッフから声掛けをし伝えたい事が伝えられるよう話を進めていくようにしている。	個々にあわせた説明をし、納得がいくまでとことん付き合っていきたい。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	その方々のペースにあわせ、臨機応変に対応出来るよう、努めている。	職員のペースで事が運んでしまう事がある為、利用者様個々に合わせた日々の過ごし方を送って頂けるように努めていく。
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	2ヶ月に1度、美容室の出張サービスを利用しており、ご本人の希望に応じお願いしています。・また希望のあるときは、それ以外の美容室へも連れて行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に2回特別食を設け、利用者様の要望に応じ提供をしている。・それぞれが出来ていることを、続けていただけるよう、支援している。		今後も伴に協力が出来るよう、利用者様の意見を大切にしておく。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体状況に合わせ、可能な限り支援している。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握し、不快を感じないように支援をしている。		日々様子が変わっていく事である為、その都度迅速に対応出来るよう、職員と話し合いながら援助して行く。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の希望を配慮しながら、対応している。・ご利用者様のタイミングに合わせて入浴していただいている。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調に合せ、就寝時間にこだわらず、ゆっくりと休息していただくようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーションや週1回のクラブ活動など提供し、個々の意志により参加していただくようにしている。レクリエーションの好きな方ばかりではないため、散歩や手伝いなど、それぞれの希望で過ごしていただいている。		日々の生活が、張り合いのある充実した時であるよう、集団ではなく個別の時間を重要と考え、サービスを提供して行く。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者個々の状況を把握した上で、家族と良く相談し、その方にあった方法で対応をしている。		今後も家族と良く相談し、対応に努める。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	全てとなると難しいが、他の利用者様も誘い散歩・買い物などそれぞれの希望に応じれるよう支援している。		スタッフのペースで動いている事がある為、利用者様中心で、1日が流れていくように努めていく。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に数回行事とし行っている。・必要に応じ、個別での対応も行っている。・家族との外出の機会が持てるよう話し合い、支援をしている。		今後もリクエストを受付け、行事の充実に力を注ぎたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族と良く話し合い、希望に応じ個別での対応も行っている。・手紙が届いた時は、返信が出来るよう支援している。		今までのお付き合いが途絶えないよう支援をして行きたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	落ち着いてお話が出来るよう、居室やリビング等にて、自由に過ごして頂けるよう場の配慮をしている。笑顔で対応をし、居心地良く過ごして頂けるよう工夫している。		職員が来訪者様の顔を覚える事で、親しみを持てる考える。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について理解をしたうえで、ご本人や他利用者様の危険が回避できない理由をご家族に理解頂き、必要最低限で行っている。		定期的な見直し（必要かどうか？）を今後も行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵はご本人に任せています。・玄関の鍵は進入対策及びエスケープ防止の為、施錠しているが、必要に応じて開錠し対応している。		開錠も検討しましたが、外部からの訪問者の侵入が数回あり、危険と感じたため、今後どうして行くか再検討中です。
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士の声かけを行い安全に配慮している。・常に様子観察をし把握をしている。・夜間も巡回にて様子把握がされている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の能力を把握し、対応している。・消火器の場所・包丁の保管場所の検討を必要に応じ話し合っている。		個別での対応を今後も進めていく一方、最終管理に努めていく。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員それぞれが理解し、常に見守りをしている。・緊急時に備え連絡先・マニュアルの準備をしている。		定期的な見直しを今後も行っていく。見直し勉強会を行っていく。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な見直しが行えていないが、マニュアルを作成し、職員各自で目を通すようにしている。・看護師からの指導で、その都度対応している。		定期的な見直し勉強会を行い、理解を深めるように努めたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防団への声掛けを行っている。・避難訓練が行えていない。		職員による避難訓練を年に数回行うようにする。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>管理者・ケアマネージャーがご家族に説明し話し合っている。話し合いの内容を職員にも説明し、共有しあっている。</p>		ご家族との信頼関係を日頃より十分に図っていく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>申し送りでの情報共有を図っている。・常時医師との連絡が取れるようにしている。・異変を感じたらすぐにバイタルチェックを行い、看護師に報告対応している。</p>		新しい職員の指導も十分に行っていく。
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>看護師からの指導により理解に努めており、症状の変化の確認を行いながら服薬支援がされている。</p>		今以上に、薬の知識を職員に教育していく。・
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>水分補給や果物を摂っていただき、適度な運動を取り入れ取り組んでいる。</p>		食事量や体調の変化に注意していく。
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>定期的な口腔歯科往診を依頼している。・毎食後の口腔ケアの促し、見守りにて行っている。</p>		感染予防のためにも口腔ケアの徹底に努める
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>記録に残す事で、伝達をし、身体状況に合った対応をしている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	往診医による予防接種。・手洗いうがいなどの促しをおこなっている。・キッチンなど水回りの消毒。		うがい・消毒の徹底に努める。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具・シンクの消毒を毎日行っている。・冷蔵庫の点検を週1回を行い、食材の腐敗など未然に防いでいく。・生ものと野菜のまな板の区別。		今後も清潔に努めていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	靴の脱ぎ履きが、腰を掛けて行えるよう、椅子を設置している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じられるようなレクリエーションに取り組んでいる。・利用者様の排泄後、必ず確認を行い利用者様が気持ちよく使用して頂けるように努めている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々が、思い思いの場に居られるよう、リビングの机の配置・ソファの配置を考慮している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	ご希望に添い、居心地が良いように配慮している		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	温度調節をこまめに行っている。・1日1回は必 ず窓を開けており、匂いの強い時は、その都度居 室の換気を行っている。		毎朝、少しでも窓を開け換気に努める。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	散歩に出来るだけ出かけ、歩行練習としてい る。・見守りのもと洗濯をしたり、台所を利用し ていただいている。		今後も見守りながら、安全を確保し続けていく。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	案内や目印などでわかりやすいようにしてい る。・先回りし導いている。		今後も個々にあわせ、支援をして行く。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	庭では家庭菜園にて季節の野菜を植え、共に草む しりや収穫を楽しんでいる。		今後も続行して行く。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

第二の我が家だと思っただけよう、安心できる空間作りに力を入れています。利用者様と職員が沢山会話出来るようゆったりと時間を過ごしています。